

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は8月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、これまで掲載されていた一般質問通告一覧については、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

CV-22オスプレイ配備について

正和会
清水 義朋 議員



▲CV-22の横田飛行場配備に関する環境レビュー(仮訳)

質問 4月3日に防衛省がCV-22オスプレイの今夏の横田基地への配備を発表、その2日後に最初の5機が飛来した。正式配備を前に、本市での状況把握と対応について伺う。

市長 公表では、今夏頃に5機を配備、その後数年間で段階的に計10機、450人の人員を配備するというもので、これを受け都と5市1町では直ちに北関東防衛局に対し迅速で

正確な情報提供を要請した。また、防衛省、北関東防衛局を訪問し、さらに6月には防衛大臣政務官と面会し、地元自治体の厳しい状況を訴え、情報提供を強く求めた。今後も市民の安全安心のため粘り強く取り組む。

ふっさっ子未来提言の総括について

質問 平成25年度末に六つの提言が公表されて以降、福生の教育と子

どもたちの姿の変化を実感している。改めて、その総括を伺う。

教育長 大きな成果には①校長・教職員の人材確保、②児童・生徒の情緒の安定、③施策の発信と認知の向上、④教育環境整備と行政職員の力量向上、⑤市独自の研究組織としての発展、⑥課題認識と施策展開の整合など。今後も教育課題の改善に向け、施策展開を着実に進めたい。

障害を持つ児童と特別の配慮が必要な児童への対応について

正和会
町田 成司 議員



質問 保育園における障害児の受け入れ状況は。また、医療的ケア児の支援内容についても伺う。

市長 障害の状況や職員の配置等を考慮し、市と保育園で調整を行って受け入れている。今年4月現在16園中14園に30名、身体の障害や知能発達に遅れのある児童が在籍している。医療ケア児は平成29年度より国のモデル事業をもとに保育支援委託

事業を開始。現在の対象児童は1名。保育園の看護師が研修等で不在時に市委託の訪問看護ステーションから派遣する。この事業により、園での集団生活が継続できている。

市内事業者の入札に対する現状と今後について

質問 業務委託や物品購入における市内事業者の割合は。また、80万円未満の物品購入は市内事業者が優

先されるが、その状況も伺う。

総務部長 平成29年度の入札結果は全108件、約4億3,338万円。うち市内事業者が55件で約2億2,114万円、50.9%で前年度比8.1ポイントの減。物品契約では全30件、約8,959万円中13件、約2,347万円で43.3%、8.6ポイント減。80万円未満の物品購入は主に事務用品などの消耗品や小・中学校の補助教材など。

「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」について

正和会
乙津 豊彦 議員



▲子育て世代も住みよいまちに(子育て世代包括支援センター)

質問 2045年の時点で、都内市部では本市が最も人口減少率が高く、一方で75歳人口の割合が最も高くなると推計された。このことをどう捉えているか。

市長 ご心配の声もいただいているが、これはあくまでも推計で、確実なものではない。発表元の国立社会保障・人口問題研究所にも確認したが、本市の場合、転入転出による

移動人口にばらつきがあり、必ずしもこのとおりに推移するとは限らないとの回答も得た。このような人口値とならないため、定住化施策を行い人口の減少幅を抑えようとしている。今は現行の総合戦略に基づき、着実かつ継続的に進めていく。

「福生市人口ビジョン及び総合戦略」への影響について

質問 推計では2045年の推計人口

は3万5,227人。一方、本市の人口ビジョンでは同時点で4万2,200人。16%もの差があるが、ビジョンや総合戦略への影響はないのか。

市長 公表結果は一つの推計で、影響はないと考える。人口ビジョン及び総合戦略は平成31年度で計画期間が終了するが、更新時には、現行の定住化施策の検証を踏まえ、より効果的なものとしたい。

福生駅西口地区の再開発に向けた検討状況と今後の取り組みについて

正和会
大野 聡 議員



▲再開発が予定されている福生駅西口

質問 再開発事業地域の状況と、検討段階で見えた課題や今後の方向性について伺う。

市長 対象は福生駅西口の約1.4ヘクタール。昨年11月に福生駅西口地区市街地再開発準備組合が設立され、地権者35名中33名が加入。都市計画上の用途区域は商業地域と近隣商業地域で、容積率は駅前通り沿いの一部が500%、その他は400%か

300%。現在、準備組合では都市計画の素案作成を進めているが、都や警視庁、JRなどとの協議が求められており、行政の協力が不可欠。本市としても重要なプロジェクトであることから、今年度より都市建設部内に新たに部・課長職を配置し、準備組合を支援している。

準備組合からの要望書に対する対応について

質問 要望書に対する市の考え方

は。また、公共施設の導入を検討するに当たり、その検討内容や課題は。

市長 再開発は市にとっても重要であるので、全庁的に検討する。準備組合から要望のあった福生駅西口への公共施設や機能の整備については、既存施設の老朽化や利用状況をはじめ、市民アンケートの結果や整備費用等、さまざまな要素を考慮し、多角的に検討していきたい。